

第42回 全国商工会議所
女性会連合会
宮崎大会

吉川優文美

神話の里青い海 緑の大地をテーマに

平成22年10月15日(金)・16日(土)に第42回全国商工会議所女性会連合会全国大会が宮崎県のフェニックス・シーガイアリゾートに於いて開催され、当女性会からは9名が参加しました。当日は、岡村正日本商工会議所会頭や戸敷正宮崎市長などを来賓にお迎えし、全国商工会議所女性会連合会の吉川稲美会長の挨拶の後、女性起業家大賞には環境に優しい事業に取り組んでいる(株)ビックバイオの阪本恵子さんが選ばれました。大

会後の記念講演は、(株)オリエンタルランド取締役の高野由美子氏によるディズニーランドの設立の頃から現況まで、また現在の役職に任命されたいきさつについてお話されました。「昨日も明日もなく今日がすべて、人は他人から認められ評価され成長する」。貴重なお話でした。15日に開催された懇親会では、東国原英夫宮崎県知事など関係者のご参加をいただきました。全国256商工会議所約2500人の女性会メンバーに「宮崎を元気にする起爆剤になる」と歓迎を受けました。また、17日は高千穂峡などを見学し、神話の国宮崎を堪能して帰途に着きました。



相模原商工会議所女性会広報

Saezuri

～さえずり～

16号
2010年11月20日

発行:相模原商工会議所女性会
〒252-0239
神奈川県相模原市中央区中央3-12-3
TEL 042-753-8135

～目次～

会長挨拶	1	チャリティーカレンダー実施	3
第38回 通常総会	1	「中心子どもの家」との交流	3
政令市誕生記念事業 「国際貢献を考える集い」に参加	2	第42回 全国商工会議所 女性会連合会 宮崎大会	4
新年会 ～明治座～	3	新入会員紹介	4
第37回 桜まつり	3	事業報告	4
		あとがき	4

新入会員紹介

東横イン相模原駅前前の支配人をしております。市内にあります3店舗では、この度政令指定都市記念「市民感謝キャンペーン シングル 4480円」を実施しております。御利用をお待ちしております。

東横イン 相模原駅前
小野 眞弓

中央区相模原4-1-16
電話 042-750-1044
FAX 042-750-1046



神奈川県下で第1号としてはじめた建設廃棄物中間処理業です。環境への意識が高まる中で更なる必要企業として相模原市とともに発展して参りたいと思います。宜しくお願い致します。

大森産業株式会社
森山 裕美

中央区高根1-2-17
電話 042-758-6663
FAX 046-245-8833



まぐろのお刺身がオススメの「安くてお腹いっぱいになる」お店です。女性会では少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

肴の店 おむろ
小野 法子

中央区中央3-11-22
電話 042-757-3731
FAX 042-757-3731



入会をきっかけに今からでも社会参加させていただき日々を大事にしていきたいと思っております。

(有)相模ロード
與儀 康子

南区麻溝台3-7-13
電話 042-766-7198
FAX 042-766-7197



お悔やみ 2月22日会員の鷹取美和子さん(77歳)が逝去されました

あとがき

全国大会開催地の宮崎は神話の国、八百万の神々のパワーが集結した土地です。この国で体験できたことを基盤に、新たな湧泉を得て、会議所女性会の力はますます高揚していきます。(Y.Y)

広報委員長 山口廣子
副委員長 吉原洋子、判治君代
委員 中村光子、森 裕子、小野眞弓、森山裕美

事業報告

- 3月8日 関女連・東京商工会議所 女性会共催フォーラム
- 4月22日 第26回関女連総会【さいたま大会】
- 6月16日 県女連理事会・総会・会員大会

会長挨拶

相模原商工会議所女性会
会長 猪熊 幸江



三期目の会長に選任され、以前にもましてその重責に改めて身の引き締まる思いです。

会員の皆様には、日頃から会の運営にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、相模原商工会議所女性会は地域商工業の振興と社会福祉の増進に寄与することを目的に活動しております。今年度も「環境と福祉」を重要テーマとし、これに沿った活動をして参ります。

環境については神奈川県下の12商工会議所女性会

で構成する連合会と連携を図り、「エコ活動チェックリスト」を活用して女性の視点からエコ活動を推進していきます。

この「エコ活動チェックリスト」はゴミの発生を減らす取り組みや水の使用を減らす取り組みなど45の項目があり、今後各項目ごとの達成状況を取りまとめ、連合会の会員大会で発表する予定です。また、福祉についてはチャリティーカレンダー事業や桜まつりのバザーで得た収益金で子どもたちの教育支援に取り組んで参ります。

また、次年度には大きなイベントを企画しているため、今年度は準備期間として内部の充実を図り会員同士の親交を深めるとともに、更なる女性会の発展のため常に向上心を失わず自ら研鑽を積み、会の活性化に努める所存です。会員皆様の一層のご支援・ご協力をお願い致します。

第38回 通常総会

木下 暉子

平成22年4月20日(火) 相模原市立産業会館国際商談室にて第38回通常総会が開催され、議案はいずれも原案通り承認されました。

総会終了後同国際商談室にて商工会議所 座間進専務理事を講師に迎えて「政令市にふさわしい商工会議所とは」の演題にて講演して頂きました。

政令指定都市に移行して相模原商工会議所を取り巻く状況や相模原市役所の業務経験から学んだこと

等をくわしく話されました。会員の皆様も熱心に聞き入りこれからの活動に多に役立ち参考になると思いました。

その後、青年部、青工研、都産研、会議所職員の方々のご出席を頂き懇親会を開催致しました。皆様の自己紹介と意見交換が和やかに行なわれ新しい年度への活動を確認して閉会致しました。



熱く語る座間専務

政令市誕生記念事業

「国際貢献を考える集い」に参加 … 女性会の活動を広く…

成川まさ子

平成22年4月1日、相模原市は全国で19番目の政令指定都市になりました。

政令都市相模原誕生記念事業として、相模原市政令指定都市推進市民協議会主催による「国際貢献を考える集い」が開催され、女性会が事例発表を行いました。事例発表は、「私達にもできた国際貢献」と題して、平成19年11月24日～29日に女性会有志が支援団体とともにカンボジアを訪問し、現地の中学校に図書や書棚等を寄贈した経緯について、現地を訪れたメンバーが写真を交えて発表しました。

私達女性会メンバーがカンボジアを訪れたのは35周年記念事業としてでした。

なぜカンボジア？それはふと目にした新聞記事でカンボジアの小学校の現状を知り、支援団体が主催するバザー会場にたずねて行ったのが始まりです。その後、カンボジアの詳しい現状を聞くために講演をお願いしたりする中で、カンボジアの子供達に教育支援したいと思う様になりました。その他にも福祉事業を展開する中で、35周年の記念事業で何を実施したらいいのか？話し合いの結果、カンボジアの子供達の教育支援をしようという事になりました。

まずチャリティーディナーショーを企画し、その収益と毎年恒例のチャリティーカレンダー・市民桜まつりの収益を合わせ、直接現地へ行き、手渡しで贈る事にしました。

カンボジアのどこへ何を届けたらいいのか迷っていた時支援団体の代表から、中学校に図書館を新設したが、中に入れる図書がないと聞き、それでは本棚と図書を贈ろうという事になりました。

訪れた中学校では校長先生はじめ教職員、生徒たちから大変感謝され、校長先生からお礼の感謝状を頂き、私達もあまりの歓迎に感動し、改めて直接届けて良かったと思いました。

今回、思いもよらず主催の相模原商工会議所から依頼を受けた時はどの様に進行したらいいのか判らず、試行錯誤を重ねてようやく完成しました。

当日会場には大勢の方が来場され、私達の発表を熱心に聞いて下さいました。この発表をすることによってカンボジアの現状を少しでも伝える事が出来たなら今後の女性会活動にとって有意義だったと思いました。又、このような機会を与えて頂き女性会の活動を広く紹介出来た事に感謝しています。



スライドで説明をする会長



カンボジアの中学校のみなさまと

新年会 ～明治座～

小山 照子

久しぶりに新年会をかねた観劇を企画しました。細雪 谷崎潤一郎 原作 儂くも美しき四姉妹の物語 時代背景は昭和10年代、大坂船場に徳川時代から続く木綿問屋「藤岡商店」の暖簾を護り受けた長女鶴子、分家して神戸・芦屋に住まいを構えながら妹達を見守る次女幸子、幾多の縁談を断り婚期が遠のいているが穏やかで芯の強さを秘めた三女雪子、最も現代的な手に職をつけ自立し強い性格で活発な四女妙子。戦時中、時代が変わりつつも常に優雅さを



細雪のポスターの前で

を忘れない美しき四姉妹。

その中、日中戦争が勃発し本家の藤岡商店が倒産する。ここで長女の夫婦のあり方が問われていた。自分達の世界が古き良き時代が既に過去になりつつある事を感じ始めた四姉妹。励まし合いながら紅枝垂の桜の花のように決して美しさを咲き続けること・やめない事を通し、豪華絢爛たる着物に魅了させられた一幕。女性として美を保つことの大切さを教えられました。

第37回 桜まつり

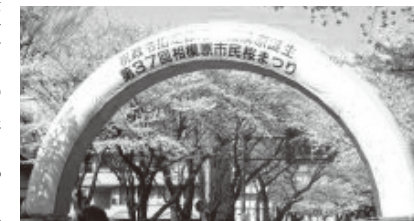
本間 セツ

「祝 政令指定都市・相模原誕生」のキャッチフレーズのもと、第37回市民桜まつりが4月3日(土)と4日(日)の両日市役所さくら通りを中心に開催されました。

行事内容は、シビックストリート、知恵、いきいき、にぎわい、環境、おもいやりの6つのゾーンに区別され、それ

ぞれ賑やかに趣向を凝らした企画がなされました。

私たちはにぎわいゾーンの108番。活動紹介やPR、酒まんじゅうの販売にバザーと盛りだくさんの出店です。今までと場所が変わり、通りに面していることと日曜日の寒さも手伝ってほかの酒まんじゅうの売れ行きはとても好調でした。



政令指定都市誕生

チャリティーカレンダー 実施

吉田みち代

女性会のテーマである「環境と福祉」事業の一環として毎年、企業や家庭で、あまっているカレンダーや手帳等を提供してもらい12月25日～1月20日まで実施し今年で4回目を迎えました。

広く皆様に知って頂くようになり、今年度の店舗数も新たに5店舗増やし、13店舗で実施する事が出来、

売り上げも、初年度からみると年々増加しており、皆様のご協力のおかげと感謝しております。また、5年目に向けて、カレンダーを提供して下さいの方の真心を頂き新たな協力店の拡大をして、多くの子供達の教育支援、福祉に役立つ活動をこれからも継続して参ります。

皆様のご協力を宜しくお願い致します。



手作りのカレンダーBOX

「中心子どもの家」 との交流

松井 和美

今年も元気な子供達に、何をしてあげたらいいかと、いろいろ役員会で議論しました。結果、まずは子供達の望んでいる事を、聴いてみましょう、また施設の先生方のご意見も…、と云う事で、3月10日に「中心子どもの家」を、訪問致しました。元気な声で子供達に迎えてもらい、「ホッ」とした気分です。暫くお話した後、映画鑑賞に決まりました。ちょうど、涙と感動と情愛の深さを知る事の

出来る、「きな子」と云う警察犬を育てる女の子の物語が、映画化、封切になる頃でもありますし、小さな子達には人気の、「アンパンマン」が上映される頃でもありました。付添いされる先生方には、さぞ気苦労も多いかと存じますが、子供達にとって楽しい思い出になるように是非お役立て下さる様お願い致します。



お礼の寄せ書き